

<様式2>

畜産試験場試験・研究課題事前評価表

畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名：

大課題名：畜産物の品質改善

小課題名：免疫賦活化物質を利用した高品質ブロイラーの生産技術

細目課題名：

担当者名：松下浩一

評価項目	評価点	指摘事項
1 課題設定の必要性 (背景、社会的ニーズ)	5 / 5	・課題の必要性は高いが、対象とする免疫賦活化物質が生産現場で簡単に入手可能かそのコーディネートについても考えて欲しい。
2 課題の新規性、独創性	3 / 5	・課題の新規性は少ないが必要な課題である。
3 目的・内容の整合性、 妥当性	4 / 5	・検討予定の免疫賦活化物質の数を絞り込んで取り組んで欲しい。
4 研究手法の的確性、 技術的可能性	4 / 5	・他の研究機関との情報交換も必要である。 ・生産現場に近い形での研究手法も検討して欲しい。
5 成果の期待度	5 / 5	・消費者ニーズにも合致しており期待度は高い。
総合評価	5 / 5	・食の安全、安心は消費者ばかりでなく生産者も追求しなければならない課題である。生産性、経済性を求める中での技術開発研究として取り組んで欲しい。 ・飼育環境の面からの検討も必要である。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

国・大学および他の試験研究機関での基礎データを踏まえ、安価かつ容易に農家に取り入れられる免疫賦活化物質を対象として実施する。

<様式2>

畜産試験場試験・研究課題事前評価表

畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名：

大課題名：家畜ふん尿の有効利用と環境保全対策技術の開発

小課題名：堆肥バッグを利用した豚の排せつ物処理技術

細目課題名：

担当者名：

評価項目	評価点	指摘事項
1 課題設定の必要性 (背景、社会的ニーズ)	5 / 5	・畜産農家の家畜ふん尿対策の指針となるような技術開発として取り組んで欲しい。
2 課題の新規性、独創性	3 / 5	・既に商品化されているバッグであり、商品の善し悪しを追試するだけで終わらないように独創性を組み入れて取り組まれない。
3 目的・内容の整合性、妥当性	4 / 5	・県内の中小規模の畜産農家を対象とし、作業性、経済性への検討も必要。
4 研究手法の的確性、技術的可能性	4 / 5	・複数の畜ふん混合による水分調整や副資材の種類による検討も必要。 ・堆肥の腐熟程度や成分分析も必要。
5 成果の期待度	5 / 5	・畜産農家全般の処理技術として取り入れられるような手法を確立して欲しい。
総合評価	5 / 5	・堆肥の品質評価やコスト面を重視した検討が必要である。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

- 発酵促進剤や副資材を利用した効率的な良質堆肥生産方法について検討していく。
- 廃棄物や飼料運搬用の格安品や使用済みのバッグ等についての実用性を検討していく。
- 水分調整材としてブロイラー出荷後の敷き料等現在処理に困っている資材の利用性についても検討する。
- 堆肥の品質評価については、耕種部門の試験場の協力を仰ぎ実施していく。